

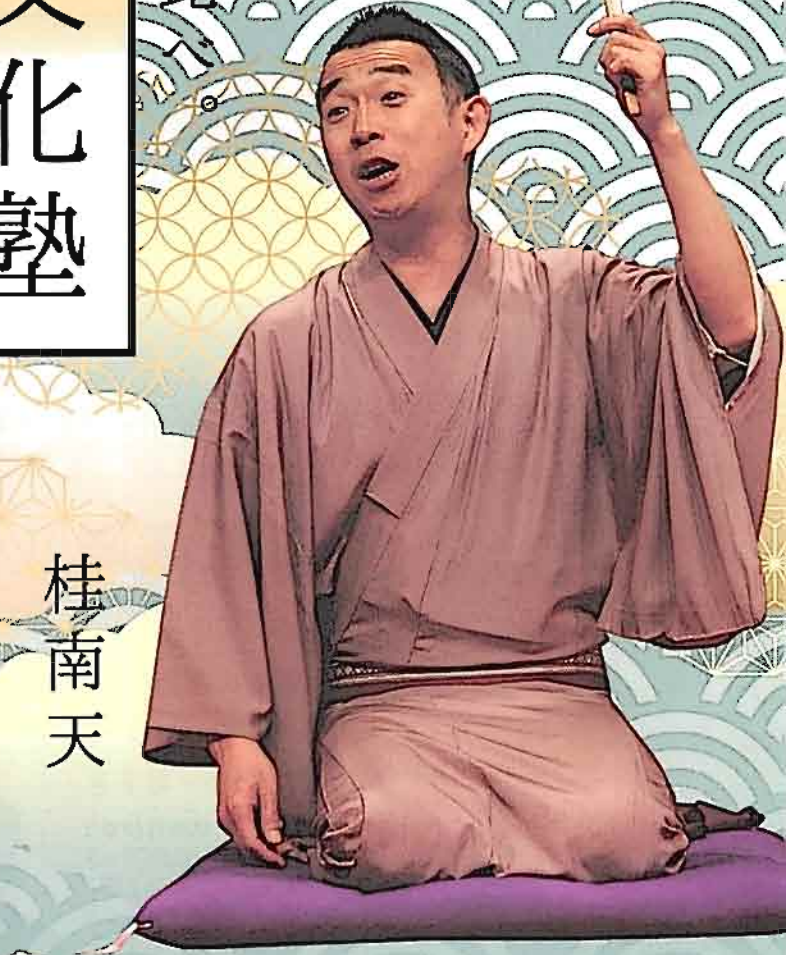
上方落語と江戸落語

日本伝統文化塾

新春の豪華な聴き比べ。



立川生志



桂南天

平成27年
1月16日(金) 19:00
(18:30開場)



ナビゲーター
おすぎ

チャンネルシティ劇場

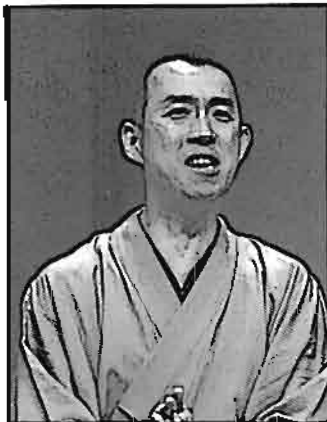
料金 2,000円 (全席指定・税込)

上方落語と江戸落語

日本伝統文化塾

新春の豪華な聴き比べ。

桂南天



【上方落語】 野崎詣り

上方落語の演目の一つです。大阪の若者二人が、野崎の観音様にお参りしようと舟に乗ります。野崎詣りは、舟と堤を行く人との口喧嘩で勝つと、運が良いという風習がありました。春の霧困気、参詣と物見遊山、おもしろおかしい喧嘩の風習を題材にした、上方落語の佳品です。

日本伝統文化塾とは、

より多くの方々に日本伝統芸能に気軽に触れる機会をもってほしいという願いを込めて、2007年より様々なジャンルの伝統芸能をチャンネルシティ博多で紹介しています。今回は、「上方落語」と「江戸落語」の違いを、おすぎさんを交えたトークで紹介した後、それぞれの落語をお楽しみ頂きます。チャンネルシティ博多から、日本の伝統芸能の裾野が広がっていきなす。



立川生志

【江戸落語】 紺屋高尾

江戸落語の演目の一つです。染物職人の久蔵。まじめ一途に働く好青年。その久蔵が、なぜか三日前から寝込んでしまっている。心配になった親方が尋ねてみると、返ってきた答えはなんと「お医者様でも、草津の湯でも…」。花魁の最高位である高尾太夫と、一介の紺屋の職人との純愛をテーマに据えた名品です。

プログラム

〈対談〉「上方落語と江戸落語」

桂南天／立川生志
おすぎ

〈落語〉桂南天「野崎詣り」

〈休憩〉

〈落語〉立川生志「紺屋高尾」

〈アフタートーク〉桂南天／立川生志
司会(久米ゆき)

新春の落語をもっと楽しむため
東西競演の見どころを解説します。

ナビゲーター おすぎ

1976年、映画評論家としてニッポン放送「オールナイトニッポン」でデビュー。現在、テレビ・ラジオ・CM出演の他、新聞・雑誌への執筆、トークショー開催など多岐にわたり活動している。



チャンネルシティ劇場 福岡県福岡市博多区
住吉1丁目2-1



【チケットのお取り扱い】

- ・チャンネルシティ劇場／電話受付 092-271-6062 (10:00~18:00)
- ・オンライン受付【座席選択可能】 www.canalcitygekijo.com/
- ・チケットぴあ/0570-02-9999 [Pコード:440-982]
- ・ローソンチケット/0570-084-008 [Lコード:81801]
- ・イープラス/eplus.jp

11月15日(土)
一般発売開始

主催/ 福岡文化財団
TEL.092-473-6777

後援/ 福岡市・福岡市教育委員会
公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
協力/ チャンネルシティ劇場